

伊丹市交通局

～しらべて安心 ゆったり乗車～ 市バス混雑情報提供システム「いたみバスナビ」 令和4年3月28日から試験運用を開始

伊丹市交通局は、感染症対策の一環として、乗降カメラセンサーを搭載して車内の混雑状況を計測し、利用者にリアルタイムに情報を提供する、市バス混雑情報提供システム「いたみバスナビ」の試験運用を令和4年3月28日から開始しました。



このシステムは、バスロケーションシステムの機能を活用してお客様へ情報提供するもので、スマートフォンやタブレット、パソコンなどを使って、混雑状況をはじめ、接近情報、乗り換え案内、時刻案内などの情報を提供、お客様に事前に確認いただくことで、バス待ち負担の軽減や混雑の回避などに役立ててもらおうと導入しました。

混雑状況については、国のガイドラインに基づいて「空いています」「やや混雑しています」「混雑しています」の3段階で表示（次頁いたみバスナビ画像のバス接近情報一覧内）。前後それぞれの乗降口に設置した乗降カメラセンサーが、乗車と降車を計測してその差から車内の人数を算出し、車両定員に対して混雑具合を判定します。



接近情報などについては、いわゆるバスナビゲーションシステムで、車載されたGPSと携帯電話回線（LTE回線）によって、直近の実運行状況から導き出した到着予想時刻を表示するほか、地図上や系統図上でもバスの位置がわかるようにしており、計画時間を表記することで遅れ時間も一目でわかるようにしています。各バス停には

二次元コードを貼付し、そのバス停に接近するバスだけの情報をダイレクトに確認していただける仕組みとなっています。

画面デザインについても、シンプルで親しみやすく直観的に操作していただけるよう、市のマスコットキャラクターを手掛けるデザイナーに依頼し、伊丹市交通局オリジナルのものとしています。



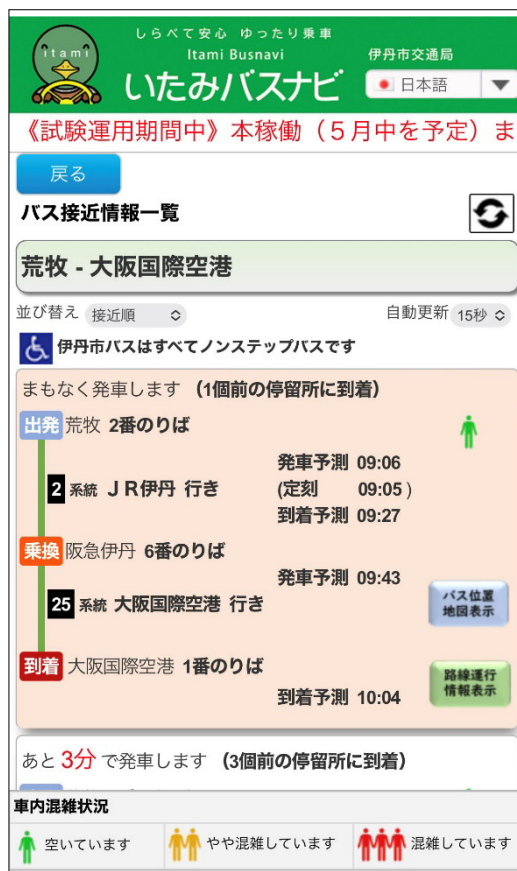
＜二次元コードを読み取る＞
そのバス停に向かってくるバスの情報が表示されます

運行管理業務については、それぞれのバスの走行(現在)位置や乗車率(乗車人数)、遅れ状況などをリアルタイムに地図上で把握できることで、混雑時に効果的・効率的な臨時便の運行や利用者からの問い合わせにも迅速に対応できます。

伊丹市交通局は、全線均一料金(大人普通210円)で、前乗り、後降りのワンタッチ方式。これまでは、乗降口の赤外線センサーや運賃収受状況から乗降客数を割り出していましたが、このシステムの導入により、OD調査とはならないものの、より正確かつ詳細に乗降客の動向を把握できるとともに、お客様への案内もよりスムーズ

でリアルタイムに行うことができるようになります。

令和3年度 MaaS 基盤整備支援のうち、＜混雑情報提供システム導入支援事業＞の選定を受けて実施した事業(令和3年度公営交通事業協会 通報 第88号を参照して下さい。)ですが、今回のシステムの導入を機に、バスロケーションシステム、ダイヤシステムとの連携、共通フォーマット(GTFS,GTFS-RT)によるオープンデータ化が実現できたことで、今後のダイヤ編成や路線の検討に役立てるとともに、お役様サービスの向上、運行管理業務の支援など、交通事業全般にかかる効率化、DX化の動きを加速させていきたいと考えています。



＜問い合わせ＞
伊丹市交通局 企画営業課
電話：072-781-3753